

Javascript 演習(応用編)

問題 1:

変数 p に 10 を代入し、変数 q に 3 を代入します。 p を q で割ったときの商と余りを、以下のようにコンソールに出力する JavaScript のプログラムを書いてください。
出力は`${$}`（バッククォートを使用したテンプレートリテラル）で出力してください。

```
商: [商の結果]  
余り: [余りの結果]
```

問題 2:

変数 a に 25 を代入し、変数 b に 4 を代入します。 a を b で割ったときの商を取得し、その商に 10 を足して、最終的な結果をコンソールに出力する JavaScript のプログラムを書いてください。
出力は`${$}`（バッククォートを使用したテンプレートリテラル）で出力してください。

問題 3:

変数 x に 7 を代入し、変数 y に 2 を代入します。 x を y で累乗した結果をコンソールに出力する JavaScript のプログラムを書いてください。
出力は`${$}`（バッククォートを使用したテンプレートリテラル）で出力してください。

問題 4:

変数 m に 18 を代入し、変数 n に 5 を代入します。 m を n で割ったときの商を求め、その商をさらに 2 倍してコンソールに出力する JavaScript のプログラムを書いてください。
出力は`${$}`（バッククォートを使用したテンプレートリテラル）で出力してください。

問題 5:

変数 c に 30 を代入し、変数 d に 4 を代入します。 c を d で割った余りを取得し、その余りを 2 で掛けた結果をコンソールに出力する JavaScript のプログラムを書いてください。
出力は`${$}`（バッククォートを使用したテンプレートリテラル）で出力してください。

解答はライブラリや関数、for 文、prompt を使用せずに、代入した値を算術演算子を使って計算するようにしてください。